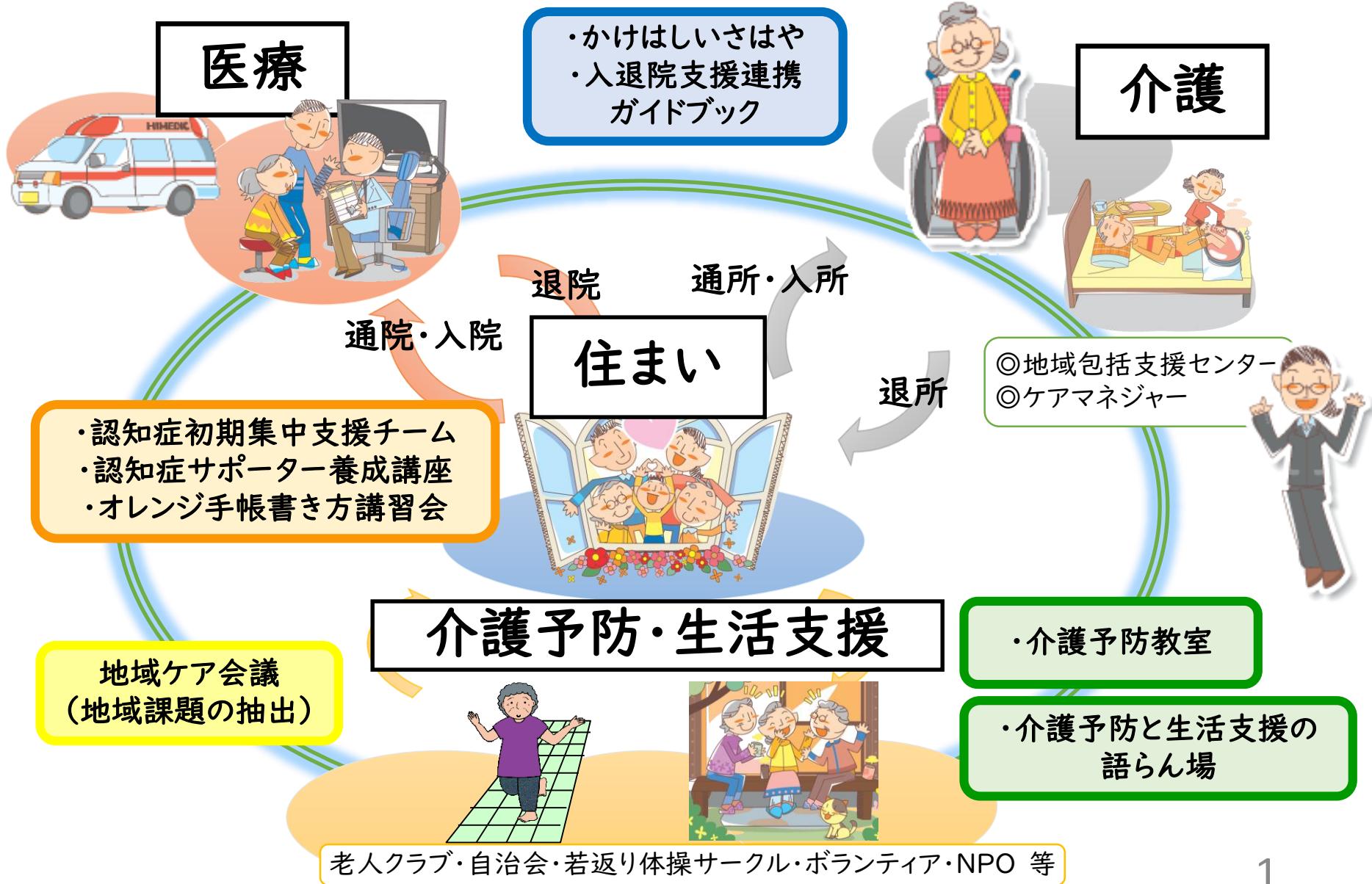


認知症対策推進事業の実施状況について

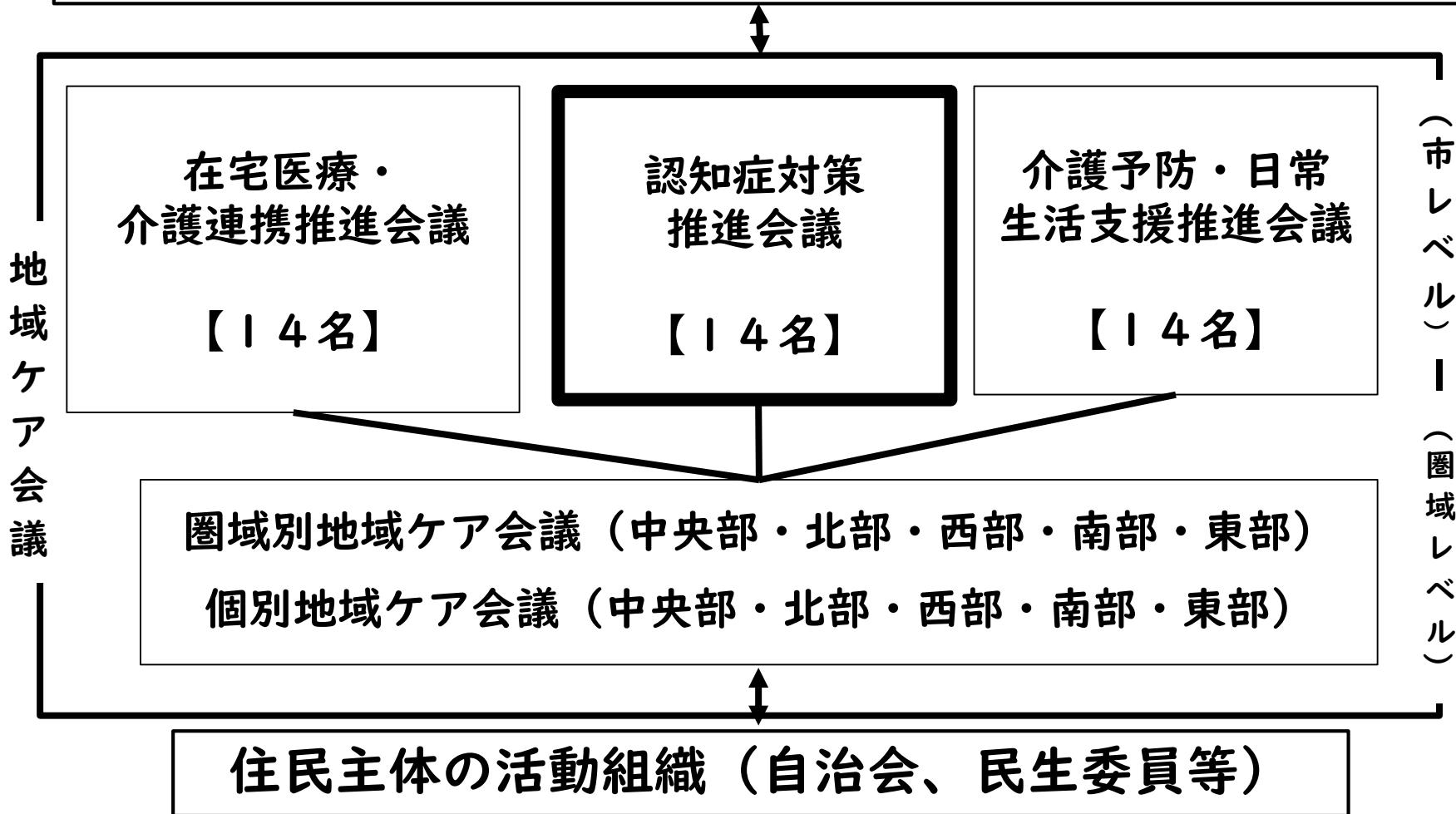
～地域包括ケアシステムのイメージ図～



諫早市における地域包括ケアの推進体制

諫早市地域包括ケア推進協議会【16名】

(地域包括ケアシステム構築のための有識者や関係機関、関係団体の代表者で構成)



認知症対策推進会議(認知症施策の推進)

目的

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域住民と医療・介護職が有機的に連携し支援するシステム構築を図る。

実施状況(R7年9月末現在)

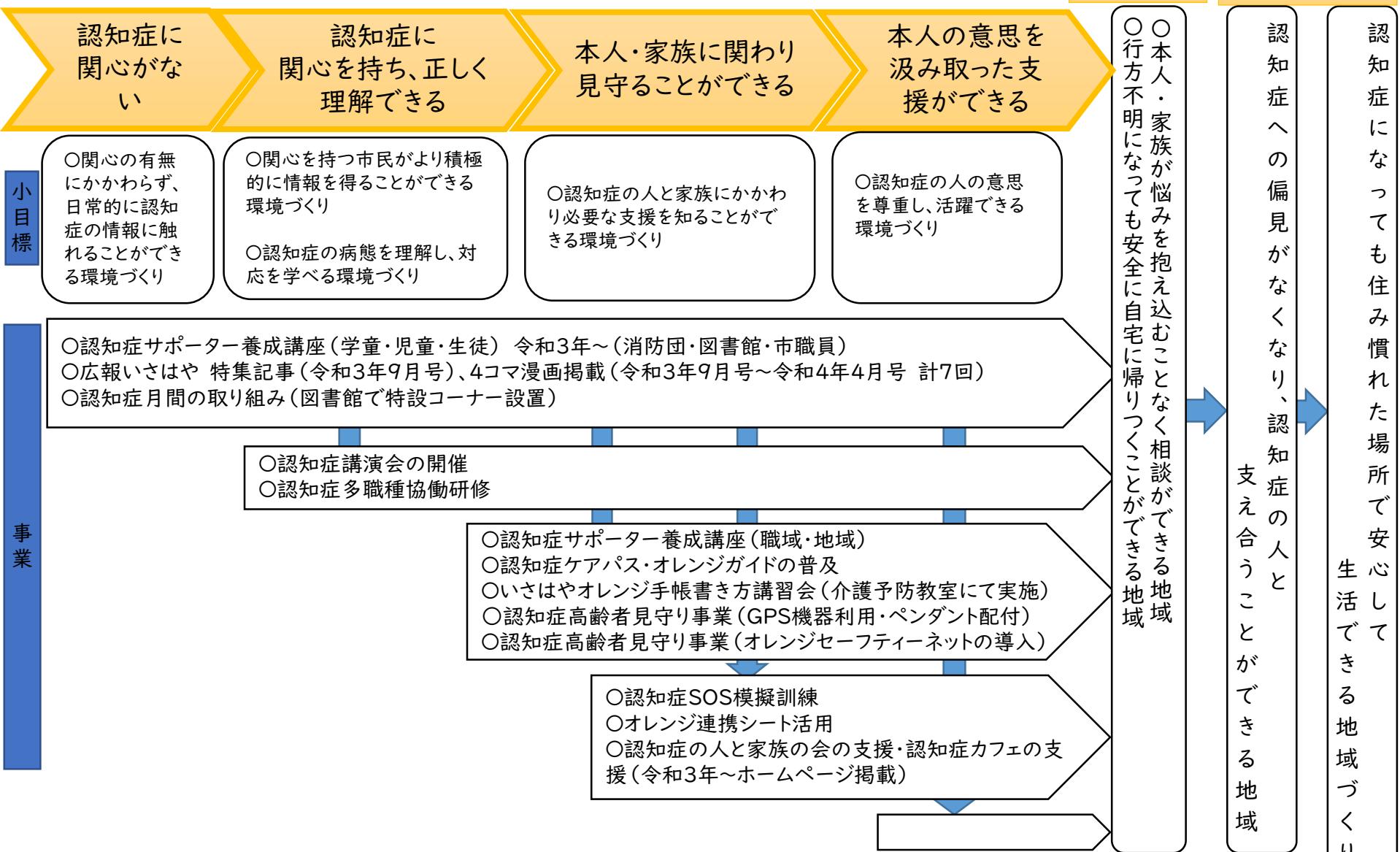
- | | | |
|-------|------------|---|
| 令和2年度 | 会議1回 | ◆認知症普及啓発DVD作成にかかるワーキンググループ2回 |
| 令和3年度 | 会議1回(書面会議) | ◆広報いさはや(9月号)認知症特集 ◆多職種協働研修会1回(オンデマンド配信、視聴者971名) |
| 令和4年度 | 会議2回 | ◆アルツハイマー月間における取組 ◆講演会1回(参加者40名)
◆多職種協働研修会1回(オンデマンド再配信、視聴者120名) |
| 令和5年度 | 会議2回 | ◆認知症SOS模擬訓練1回(参加者110名)
◆講演会1回 ◆多職種協働研修1回(動画配信 視聴回数821回) |
| 令和6年度 | 会議2回 | ◆認知症SOS模擬訓練 ◆世界アルツハイマー月間の取組 |
| 令和7年度 | 会議1回 | ◆認知症月間における普及啓発の取組み |

これまでの検討状況・成果

- 認知症初期集中支援チームの設置(平成28年度~)
主な事例 ①行方不明となるリスクが高い認知症が疑われる事例←介護サービス利用へ
②認知症診断後に受診拒否、介護サービス利用に強い拒否のある事例←精神科受診し、介護サービス利用へ
- 認知症初期集中支援チーム検討委員会設置(平成28年度から推進会議を位置付け)
- 認知症SOS模擬訓練の実施(平成30年度~)
- 認知症サポートー数(平成20年7月~) 15,280人(令和7年9月末現在)
- オレンジ見守りペンダント等配付事業(平成29年2月~)
- 位置情報確認装置(GPS)の貸与(平成12年~)
- 認知症ケアパス(平成29年度) ○いさはやオレンジガイド(本人視点簡易版認知症ケアパス)(令和4年度)
- オレンジセーフティネット(令和5年度~)
- 認知症月間の取組み(令和6年度)

認知症の普及啓発の取り組みについて～諫早市の目指すところ～

« 認知症に対する市民の関心と対応の変化 »



認知症対策推進事業の実施一覧

普及啓発

- 認知症講演会
- 認知症サポーター養成講座
- いさはやオレンジ手帳
- 認知症SOS模擬訓練
- 認知症月間の取組み

本人・家族 支援

- 専門相談
- 認知症初期集中支援チーム
- 認知症ケアパス ○いさはやオレンジ手帳
- オレンジ連携シート ○多職種協働研修
- 高齢者見守り(ペンダント・GPS・OSN)

本人 発信支援

- 講演会等での認知症ご本人の意見を反映
- いさはやオレンジガイド(簡易版認知症ケアパス)

【目的】

市民に広く認知症についての理解を求め、認知症になつても安心して暮らすことのできる地域になることを目指す。

【内容】

○第1部：講演

「軽度認知障害(MCI)と早期認知症」
「認知症の症状を正しく知ろう」

諫早総合病院院長 長郷医師
諫早総合病院 藤本看護師

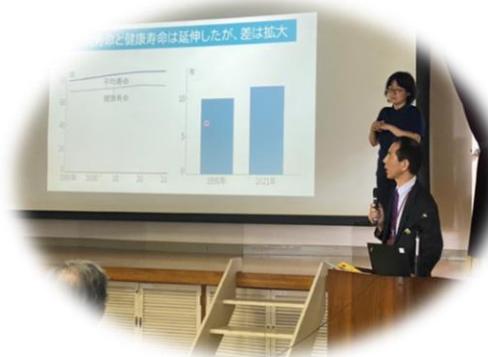
○第2部：相談コーナー

【実績】(令和7年度)

日時 : 令和7年9月20日(土)

場所 : 高城会館

受講者数: 133名



認知症サポーター養成講座

【目的】

認知症についての正しい知識をもち、認知症の人やその家族への理解を深めるとともに、認知症の人が地域で安心して暮らせるよう、声かけや対応の仕方の学ぶ。

【内容】

- ・認知症の人と家族の会の講話
(家族の気持ちを理解する)
- ・DVD視聴
(認知症本人の戸惑いについて)
- ・認知症の人の対応を体験
- ・意見発表

【いさはやオレンジバッジ】



認知症の人やその家族の
応援者の証として、認知症サポーター
養成講座を受講修了された方に渡して
います。諫早市独自のバッジです。

【実績】(平成20年7月～令和7年9月末)

開催回数:533回

サポーター数:15,280人

開催場所:

図書館・小中学校・老人クラブ・自治会・
医療機関・宅配事業所 等



◆いさはやオレンジ手帳◆

認知症に備えて、元気な頃から、今まで生きてきた暮らしや思い、希望等必要な情報をまとめておくことができる手帳

【目的】

- オレンジ手帳に自分史（エピソード）を書き残し、認知症に備える
- 地域に認知症への理解者を増やす

【内容】

<定期開催> 介護予防教室（脳トレ）30分程度

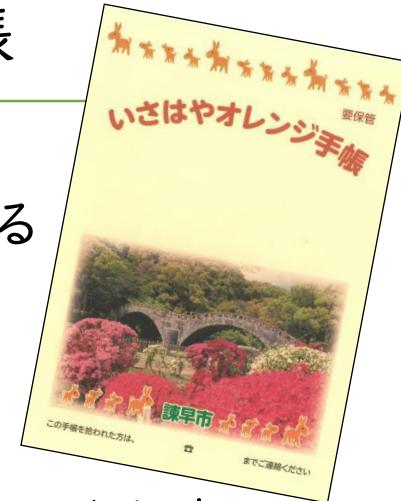
<不定期開催> 65歳以上の10名以上のグループからの申請、60分程度

【令和7年度実績】

実施回数 20回、延べ参加者数 292人（R7年9月末現在）

【シート項目】

- ・覚え書き ・私のプロフィール ・自分史シート
- ・いままでシート なじみシート
- ・これから生き方・暮らし方シート・安心マップ



認知症SOS模擬訓練

認知症SOS模擬訓練とは、認知症の人が迷わない・安心して外出できる地域に向けた取組みです。

認知症サポーター養成など認知症の方への対応を学んだ上で、行方不明者が発生したことを想定し「声掛け」「搜索」を地域で行います。

認知症の人が
安心して自宅に
帰れる地域に
したい



<自治会長挨拶>

これから先の対応や、どういう声掛けをすればいいのか勉強したいと思う。

<声掛け編>



家に帰ろうとして道に迷い公民館周辺をウロウロしている人に対する声かけ

【目的】

認知症になっても、住み慣れた場所で安心して生活できる地域を目指し、市民が認知症への関心を持ち、理解を深めることが出来るよう、9月の「認知症月間」にあわせ普及啓発を図る。

【取組み】

- ・缶バッジ配付
- ・オレンジDAY
- ・リーフレット配布
- ・認知症月間ののぼり、横断幕を設置
- ・市内図書館認知症特設コーナー
- ・認知症講演会
- ・市広報誌での特集



認知症相談支援の流れ

相談者

医療関係者

介護関係者

本人・家族

地域
(民生委員等)

警察

窓口・電話

認知症地域支援推進員(地域包括ケア推進課・地域包括支援センター)

- ・認知症専門嘱託医
- ・保健師
- ・認知症地域支援推進員

専門相談
(案件数11件)

初期集中支援チーム
(案件数4件)

必要時
戻る

対応結果

医療
(専門医・
かかりつけ医)

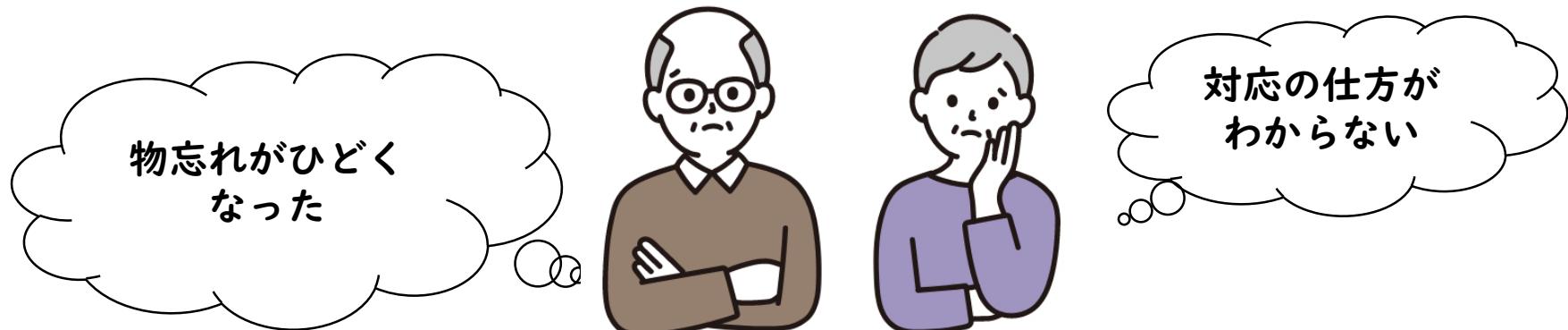
介護
(認定申請)

介護
(ケアマネ)

地域包括
支援センター

民生委員

家族



【目的】認知症に関する相談を受けることで、認知症の本人や家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることを支援する。

【対象者】認知症やその心配がある高齢者・家族または支援に関わる方

【従事者】認知症専門嘱託医・保健師・認知症地域支援推進員

【場所】諫早市役所 会議室

【日時】毎月 第2金曜日

13時30分～15時(1枠30分)

【料 金】無料

※事前予約が必要



本人・家族支援

本人発信支援

いさはやオレンジガイド

～諫早市認知症ケアパスを基に
本人視点を盛り込んだ簡易版認知症ケアパスに～

【経過】

- 平成29年度諫早市認知症ケアパス作成
- 地域住民、医療、介護関係者向けとして作成。
認知症対策推進会議にて「情報量が多い為簡易的なものが必要」との意見あり。
- 平成30年度実施の「認知症の人の心の声アンケート」の内容を盛り込む。
- 令和元年度より案を作成し、認知症推進会議にて意見聴取し修正。
- 本人が使いやすい認知症ケアパスを作成し、空白の期間への対応を図る。
- 情報を詰め込まず、シンプルな構成にし、諫早市認知症ケアパスに繋ぐ。

The diagram illustrates the evolution of the 'Orange Guide' from a booklet to a card. It shows the 'My Hope' section and the 'Care Pass Application Period' timeline.

Original 'Orange Guide' Booklet: Shows the title 'いさはやオレンジガイド 物忘れが気になり始めたら' and various sections like '認知症とは' (What is dementia?), '私の希望' (My hope), '予防(備え)' (Prevention), '交流役割' (Role of exchange), '病院と介護保険' (Hospitals and Long-term Care Insurance), and '私も家族も安心' (Both family members feel secure).

Simplified 'Orange Guide Card': Shows the title 'いさはやオレンジガイド' and highlights the 'My Hope' section, which includes a list of services and activities available during different periods: Initial Period, Middle Period, and Final Period. It also shows the 'Care Pass Application Period' timeline.

Timeline: Initial Period (初期), Middle Period (中期), Final Period (後期). The timeline includes '介護保険認定申請の時期の目安' (Timeline for Long-term Care Insurance Certification Application) and '市地域包括ケア推進課 22-1500' (City Regional Care Promotion Office 22-1500).

Services: Various services listed under '私の希望' (My hope) include '見守りサービス', '訪問看護', '介護保険認定申請', '地域活動', 'ボランティア', '専門医療機関', '専門疾患機関', '専門疾患機関 認知症疾患医療センター', '自宅で', '介護サービス', '施設で', and '地域包括ケア推進課'.

※八折り版で手に取りやすいよう工夫

13

【目的】

認知症支援に関わる多様な職種や支援者が認知症への理解を深め、生活障害への対応力の向上を図るとともに、認知症の人や家族が必要とする支援を関係者相互の視点を理解しつつ、連携し、支援できるようになる。

【対象者】 市内で認知症支援に関わる専門職等

【実績】

- 日時 :令和7年7月6日(日)
場所 :諫早市健康福祉センター
受講者数:61名
内容 :講座・演習
 - ・本人インタビュー動画視聴
 - ・認知症VR体験

事例検討

 - ・グループワーク
 - ・全体共有



スマートフォンのアプリを活用して、行方不明となった認知症高齢者等を地域で見守り、早期発見・保護する仕組みです。家族等がアプリを通じて捜索依頼を行うと、登録された捜索協力隊「おかえり協力隊」に情報が共有され、捜索が開始されます。

